

2025 年度決算報告

学校法人京都橘学園の 2025 年度決算は、2026 年 6 月 8 日開催の理事会および同年 6 月 22 日開催の評議員会において承認されました。

経常的な収入である教育活動収入および教育活動外収入は、前年度比 11 億 4,900 万円増加しました。収入の大部分は大学・中学校・高等学校・こども園の学生生徒等納付金であり、経常収入の 70.7%を占めています。特に大学では、2021 年に開設した新学部・新学科が 5 年目を迎え、在籍学生数の増加に加え、文学部日本語日本文学科の収容定員増の影響もあり、学園全体の学生生徒等納付金は前年度比 102.4%となりました。

手数料収入(主に入学検定料)についても、大学の延べ入学志願者数が前年度比 1.6 倍に増加したことにより、前年度比 111.4%となりました。また、学園創立 125 周年を迎え、引き続き多くのご支援をいただきましたが、寄付金収入は前年度比 89.7%となりました。国および京都府などから交付される補助金は、事業活動収入の 24.5%を占めています。経常費等補助金は、大学新棟に関する補助金の影響もあり、前年度比 128.9%と大きく増加しました。こども園における施設型給付費についても、前年度比 115.2%となっています。

一方、支出面では、教育活動支出および教育活動外支出が前年度比 14 億 450 万円増加しました。内訳として、人件費は前年度比 106.9%、教育研究経費は前年度比 119.8%(約 4 億円増)、管理経費は前年度比 115.7%(約 1 億 5,000 万円増)となっています。

これらの結果、事業活動収支差額比率は前年度の 17.7%から 12.7%へ低下したものの、引き続き高い水準を維持しています。これに特別収支を加えた基本金組入前当年度収支差額は 19 億 6,000 万円となりました。

基本金の組入れについては、第 1 号基本金において、大学新棟「ACADEMIC TERRACE」(2026 年 2 月竣工)および用地取得、中学校・高等学校の新校舎建設(2026 年 8 月竣工予定)に伴う組入れを行い、組入総額は 43 億 9,100 万円となりました。また、第 3 号基本金は奨学基金への寄付により増額となっています。これらの結果、2025 年度の当年度収支差額は 22 億 1,000 万円の支出超過となり、翌年度繰越支出超過額は 87 億 3,900 万円となりました。

本学園では、2023 年度から第 3 次マスタープランを始動しています。2025 年度はこの計画に基づき、大学において 2026 年度開設予定のデジタルメディア学部デジタルメディア学科(通学課程・通信教育課程)、工学部ロボティクス学科および健康科学部臨床工学科の開設準備を進めるとともに、「ACADEMIC TERRACE」の建設を推進し、収容定員拡大に向けた取り組みを進めました。

なお、私立学校を取り巻く経営環境について、『令和 6 年度版 今日の私学財政』(日本私立学校振興・共済事業団)によれば、事業活動収支差額比率の全国平均は 3.3%とされています。これに対し、本学園は 12.7%と全国平均を大きく上回っており、現時点において安定的かつ健全な経営状況にあると判断しています。